

社協 あさひかわ

はじまりは あなたの笑顔から



[2~3ページ]

誰かの「笑顔」が自分の「笑顔」に
～ボランティア活動のススメ～

[4ページ]

地区社会福祉協議会って何？
シリーズ6

[6ページ]

おがれ
ちいき たから
地域の宝もの

旭川大学 柔道部 「子供見守り隊」のみなさん

社協クイズ

共同募金図書カードをプレゼント!!

問題 旭川大学柔道部の部員が結成し活動をしている隊の名前は?

ヒント 6ページを見てね!

子供○○○隊 ○に当てはまる文字は何でしょう?

※「社協クイズ」の応募で得た個人情報は、プレゼントの抽選及び発送以外に使用いたしません。お寄せいただいたご意見・ご感想は、本広報紙等において公表させていただきます。(ただし住所、氏名、年齢、電話番号を除く)

■179号の 相談者の利便性の向上と効率的な相談対応を行うために、旭川市社会福祉協議会で4月から新しく設置した課は?
答え **権利擁護課**

【応募方法】 はがき・FAX・Eメールにて、
①クイズの答え ②「社協あさひかわ」に関するご意見やご感想(必須)
③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥電話番号

を、ご記入の上、ご応募ください。正解者の中から10名様に1,000円分の図書カードをプレゼントいたします。なお当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

【応募締切】 2019年6月28日(金)まで(当日消印有効)
【応募先】 裏面下記、旭川市社会福祉協議会まで

■180号の 赤い羽根共同募金と初コラボ!!「あさびー」のクイズの答え 幼なじみの名前は?
答え **ゆっきりん**

この広報紙は、地区社会福祉協議会、市民委員会、各町内会等、みなさんのご協力により各世帯に配布されています。
配布にご協力いただいたみなさん、ありがとうございます。

この広報紙「社協あさひかわ」は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。

平成30年度 地域支えあいのまちづくりセミナー



ひとりぼっちをつくらない 身近な孤立を温かな地域で包む
～ゴミ屋敷、ひきこもり、さまざまな地域課題の現状～を開催しました!!



講師の勝部 麗子氏

旭川市市民委員会連絡協議会、旭川市民生委員児童委員連絡協議会と共催で「地域支えあいのまちづくりセミナー」を、平成30年10月31日(水)に旭川市公会堂を会場に開催しました。

当日は、大阪府・豊中市社会福祉協議会の、勝部麗子氏を講師としてお招きし、「身近で起きている孤立を、温かく包み込む地域づくり」について、事例や経験などをもとにご講演をいただき、地域のつながりづくりの重要性を学ぶことができました。また、永山南きづなカフェ実行委員の古川稔氏と、つどい町内(春光台地区)いきいきサロン代表の西村睦子氏に、それぞれの取り組みの報告をしていただき、身近な地域における交流する場の重要性と、そこに参加する必要性について理解を深めることができました。

当日お忙しい中ご参加いただいた540名の皆様や、ご協力いただいた関係者の皆様にお礼申し上げますと共に、今後とも地域福祉活動へのご理解、ご参加を賜りますようお願い申し上げます。



市民のみなさんからの声

写真やイラストなどが適度に入り、大変見やすいと思います。表紙も明るくて良かったです。高齢者の方には字が小さいかもしれませんが、字が大きすぎても情報が載せられないですね。3歳の幼児を育てているので、幼児やその親に役立つ情報も毎回載せてほしいです。
(緑が丘地区にお住いの女性から)



高校生がボランティア活動をしているのを読んで、若い人が熱心に活動していることを知りました。ずっと継続して、次の人たちにつながれば良いと思いました。
(千代田地区にお住いの男性から)



高齢化が進む中、広報紙の役割が重要に思います。それぞれの地区の社協活動の紹介、各種相談サービスのご案内など、参考になっています!!
(東旭川中央地区にお住いの女性から)



編集委員から

この他にも、多数のご意見をお寄せいただいております。誠にありがとうございました。皆様の貴重なご意見のもと、分かりやすく、読みやすい紙面づくりに努めさせていただきます。これからも広報紙「社協あさひかわ」をよろしく願います。

ご意見・ご質問を募集しています!「旭川市社会福祉協議会」まで

社会福祉法人
旭川市社会福祉協議会
【5条事務所】〒070-0035 旭川市5条通4丁目 旭川市ときわ市民ホール1階
☎23-0742/FAX23-0746
Eメール chiiki@north.hokkai.net

社協に関して、わからない、聞いてみたいこと等ございましたらお気軽にお問合せください。

旭川市社会福祉協議会 **神楽事務所** 神楽3条4丁目1-18 ☎60-1710/FAX60-1780
地域福祉活動拠点 **すずかけ** 神楽岡10条5丁目1-28 ☎60-6222/FAX60-6223

ボランティア活動と生きがいづくり



『平成29年度版高齢社会白書』(内閣府)によると、社会的な貢献活動に参加している人は約3割で、もっとも多かった活動は「自治会、町内会などの自治組織の活動」(18.9%)、次いで「趣味やスポーツを通じたボランティア・社会奉仕などの活動」(11.0%)でした。また、「社会的な活動をして良かったこと」を聞いたところ、「新しい友人を得ることができた」(56.8%)が一番

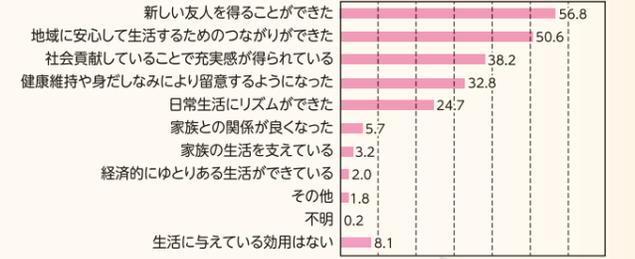
多く、次いで「地域に安心して生活するためのつながりができた」(50.6%)、「社会貢献していることで充実感が得られている」(38.2%)となっています。社会的な貢献活動に参加している人は、約3割とまだまだ少ないものの、その多くが参加して良かったと回答しており、友人関係など、地域における新たな「つながり」と「充実感」が得られています。

■内閣府「平成29年度版高齢社会白書」から

【社会的活動(貢献活動)の実施状況】



【社会的な活動をして良かったこと】



無理なく！ 楽しく！！



住民の方から、「自分が人のために活動なんて・・・」「ボランティアって敷居が高い・・・」「参加する時間がない・・・」といった声をよく聞きます。しかし、ボランティア活動は誰かに強制されるものではありません。ボランティアの語源でもある Voluntas(ボランタス)・自由意志にもとづく活動です。

実際に活動しているボランティアさんとお話すると、「空いた時間で無理なく活動しています」「嫌々やっている相手にもそのことが伝わる。できる範囲で楽しみながら活動しています」「ありがとう」という言葉が最高のご褒美! やりがいと生きがいを感じています」など、ボランティア活動は「無理なく楽しく、そして空いた時間に活動することが大切だ」ということに気づかされます。

「手引き」が 完成しました!



内閣府の『平成28年度 市民の社会貢献に関する実態調査』では、ボランティア活動等の参加の妨げとなる要因のひとつとして、「ボランティア活動に関する十分な情報がない」(39.8%)というものがあります。実際に、ボランティアさんや養成講座に参加した住民の方からも「ボランティア活動に関する情報が少ない」などといった意見をいただきました。

旭川市ボランティアセンターでは、ボランティアセンター登録制度の推進、ホームページの開設、ボラセン通信の発行などを通じ、ボランティアに関する情報発信を積極的に行っています。また、生活支援コーディネーターが中心となり、さまざまなボランティア活動を紹介した「ボランティアハンドブック」を作成しました。旭川市ボランティアセンターのホームページで確認することができます。

ぜひ、さまざまなツールで発信している情報をキャッチしていただき、新たな「つながり」や「充実感」を得ることができると地域福祉活動やボランティア活動に参加してみませんか?

お問合せ先 旭川市社会福祉協議会 地域福祉課

- 旭川市生活支援体制整備事業担当 (生活支援コーディネーター) ☎23-0742
- 旭川市ボランティアセンター ☎21-5550
- 【ホームページ】 <http://www.asahikawa-shakyo.or.jp/volunteer/>

フェイスブックページの紹介

旭川市生活支援体制整備事業では、旭川市ボランティアセンターで立ち上げたfacebook(フェイスブック)とコラボして、これまでのボランティアの募集や研修会情報などに加え、生活支援コーディネーターの活動報告などの情報発信をスタートしました。QRコードを読み取るか、「まちづくり ボランティア 旭川」で検索してください。URLは <http://www.facebook.com/asahikawa.vc/> です。みなさんの「いいね」お待ちしております!!



この街でやさしいひとときを



ART HOTEL

アートホテル 旭川

〒070-0037 旭川市7条通6丁目 TEL.0166-25-8811(代) <http://www.art-asahikawa.com>

地域の元気を バックアップ!!



誰かの「笑顔」が 自分の「笑顔」に

～ボランティア活動のススメ～

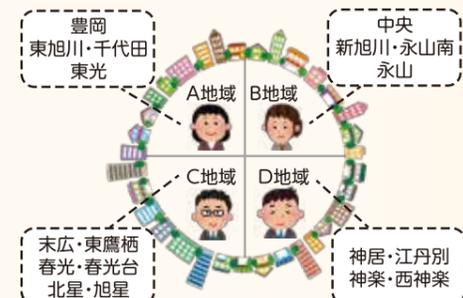
少子・高齢化の進行、隣近所などの人間関係の希薄化が進む昨今、改めて住民による助けあい・支えあいである「互助」の必要性が求められています。

旭川市社会福祉協議会では、地域福祉を推進する民間の団体として、「互助」である住民の地域福祉活動やボランティア活動への参加を推進しています。また、平成30年度からは、旭川市生活支援体制整備事業を旭川市から受託し、4名の生活支

援コーディネーターを配置。それぞれが担当する地域で、高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、地域包括支援センターをはじめとした関係機関などと連携し、担い手の養成など、さまざまな活動を展開しています。

今回は、関係機関・団体にご協力いただき、旭川市ボランティアセンターと生活支援コーディネーターが取り組んだ活動をご紹介します。

■生活支援コーディネーターの担当圏域



アクティブシニア研修 in 旭川

健康で生きがいを持ち、元気で活動的に暮らす住民を増やすことを目的に、北海道(受託機関:株式会社北海道二十一世紀総合研究所)と共催で、「50代からのアクティブライフ～シニア～」と題して開催しました。この研修会への参加がきっかけとなり、数名の方がイベントの受付や個人宅でのボランティア活動を始めました。



アクティブシニア研修

手づくりレストラン あつらいいなあを形にする project

神居・江丹別地域包括支援センターと共催で、認知症などで自宅や施設で介護を受けて生活されている方が、無理のない範囲でレストランのスタッフとして活躍し、地域の方と交流を深めることを目的に開催しました。地域のボランティアさんにもご協力をいただき、配膳を間違っても気にしない、笑顔あふれるレストランになりました。



個人宅でボランティア活動

北のほし ☆ ボランティア養成講座

旭川市北星公民館、北星・旭星地域包括支援センター、旭川北医院デイサービスセンター、森山メモリアル病院通所リハビリテーション事業所、ラ・ナシカあさひかわ、地域密着型特別養護老人ホーム ヴィラ・プラタナス、旭川老人保健施設ふれあいと共催で開催しました。その後、講座修了者が森山メモリアル病院通所リハビリテーション事業所で行われた「ホットケーキづくり」を、利用者の方と一緒にしました。



手づくりレストラン



北のほし☆ボランティア養成講座



ホットケーキづくり



ボラカフェin東旭川



旭川市自立サポートセンターにご相談ください

旭川市自立サポートセンターは、仕事や生活にまつわる経済的な困りごとの相談窓口です。ご本人に寄り添いながら困りごとを整理し、解決するためのプランと一緒に考え、利用できる公的制度やサービスを調整します。

対象となる方：旭川市内にお住まいで経済的な困りごとがある方（生活保護を受給していない方）



孫が職を転々として、長続きしません。この2年は働こうとせず、家にひきこもりがちです。どうしたらいいのやら・・・

働いていない期間が長くなったことで、働き始めることや働き続けることに自信がなくなってしまったのかもしれないね。お孫さんのペースで、家庭訪問、ボランティア活動、協力事業所での就労体験などから始めませんか。



夫婦共働きをしながら子どもを育てていますが、お金のやりくりが上手いはず、困っています。

現在の家計を整理して、収支のバランスを確認する必要があるかもしれませんね。お子さんの将来のためにも、生活費に余裕を作り、貯蓄に回すのはどうでしょうか。収入を増やし、支出を抑えるための方法を一緒に考えましょう。



お問合せ先

旭川市自立サポートセンター

【開設時間】月曜日～金曜日 午前8時45分～午後5時15分

旭川市7条通10丁目 旭川市役所第2庁舎4階

☎23-1134/FAX22-8020

2019年度「ボランティア保険」のご案内



ボランティア活動中の事故やケガに対して、その損害や賠償を補償する「ボランティア保険」の2019年度分を受付開始しています。（加入対象者は、旭川市ボランティアセンターに登録されている団体や個人です）

ボランティア活動保険

ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや賠償責任を補償する保険です。

●保険料～1人あたり・年間～

	Aプラン	Bプラン
基本タイプ	350円	510円
天災タイプ (基本+地震・噴火・津波)	500円	710円

ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動のさまざまな行事におけるケガや賠償責任を補償する保険です。

●保険料～1人あたり ※Aプランの最低加入人数は20人です

Aプラン (宿泊を伴わない行事)	A1	28円
	A2	126円
	A3	248円
Bプラン (宿泊を伴う行事)	1泊2日	241円
	2泊3日	295円
	3泊4日	300円

ボランティアに関することや保険の詳しい補償内容についてはこちら！

お問合せ先

旭川市ボランティアセンター

☎21-5550 / FAX23-0746

Eメール: volunteer@north.hokkai.net

http://www.asahikawa-shakyo.or.jp/volunteer/

旭川市ボランティアセンター

検索

高齢者向け宅配弁当サービス

栄養士が栄養バランスと食べやすさに配慮してメニューを考えています。

おかずのみ **540円** (税抜 500円) | ごはんセット **594円** (税抜 550円)

幼稚園・介護施設(朝・昼・夕)の給食も低価格にて承ります。安否確認も実施しております。

宅配クック1・2・3旭川店 ☎(0166)25-3210 FAX 0166-25-3201 〒070-0030旭川市宮下通16丁目3-1

スーパー銭湯 **大雪乃湯**

旭川市永山2条7丁目 ☎0166-47-2683

大人.....440円
小学生.....140円
幼児.....70円

平日12時～23時 土・日・祝10時～23時(受付22時終了)
年中無休※メンテナンスの為休業有

http://taisetsunoyu.com



旭川地区社会福祉協議会 森下会長

旭川地区は、7町内会が構成され、約1,700世帯3,200人ほどが暮らす地区で、「旭神町」と平成7年に造成した住宅街や商業地に条丁目がついた「旭神1条」3条が該当しており、古くからある地区と新しくできた地区が混在している地区です。また、近隣の地区には、大学や専門学校があるため、学生等の若い世代も多く住んでいる地区となります。

「ふまねっと運動」の合同には、参加者同士でお茶菓子をつまみながら談笑し交流を行っています。そのため健康づくりが住民同士のつながりづくりの場にもなっています。



健康づくり・ふまねっと運動体験教室の様子

毎月定期的に行っている「健康づくり・ふまねっと運動体験教室」の他に、それぞれ年に1回ずつ、2つの行事を行っています。

旭川地区は特に「旭神1条」3条の人口が多く、比較的新しい地区であることから、見守りが必要な高齢者世帯などがあまり多くない地区と認識しています。しかし、今後は少しずつ高齢者が増加していくことから、現在行っている「サロン」や「行事」などの交流やつながりづくりを活かし、高齢者がこの地区でより長く、また地区内の住民が安心して暮らし続けることができる地区となるよう今後も住民のみなさんと力を合わせながら進めていきたいと考えています。



旭川地区のサロン活動に興味がある方(開催日時、参加対象者など)は下記にお問合せください。

【お問合せ先】
旭川市社会福祉協議会
地域福祉課 ☎23-0742

旭川地区ってどんな地区？

旭川地区は、7町内会が構成され、約1,700世帯3,200人ほどが暮らす地区で、「旭神町」と平成7年に造成した住宅街や商業地に条丁目がついた「旭神1条」3条が該当しており、古くからある地区と新しくできた地区が混在している地区です。また、近隣の地区には、大学や専門学校があるため、学生等の若い世代も多く住んでいる地区となります。

旭川地区社会福祉協議会のつながりづくり

旭川地区社会福祉協議会では、高齢者の健康増進と孤立防止、地域のつながりづくりを目的にサロン活動や多世代交流行事を中心に活動を展開しています。今回は、それぞれの取組について紹介いたします。

ふれあいサロン事業

旭川地区社会福祉協議会では、「ふれあいサロン事業」として毎月第4金曜日に、老人クラブ「花と緑の会」と共催で「健康づくり・ふまねっと運動体験教室」を実施しています。

また、定期的に行うことにより、参加者の体調や健康面での変化に気づくことができている。今後も定期的なサロンを通して、「健康づくり」と「つながりづくり」の場を担っていきたくと考えています。

今後の地域イベント

旭川地区は特に「旭神1条」3条の人口が多く、比較的新しい地区であることから、見守りが必要な高齢者世帯などがあまり多くない地区と認識しています。しかし、今後は少しずつ高齢者が増加していくことから、現在行っている「サロン」や「行事」などの交流やつながりづくりを活かし、高齢者がこの地区でより長く、また地区内の住民が安心して暮らし続けることができる地区となるよう今後も住民のみなさんと力を合わせながら進めていきたいと考えています。



「小学生と高齢者の餅つきのつどい」の様子

地区社会福祉協議会って何？シリーズ6

旭川地区社会福祉協議会とは、地域のみなさんや町内会(市民委員会)、地区民生委員児童委員協議会などの関係機関・団体の参加と協力により、地域支援あいのまちづくり推進事業(※)などを通じて、地域におけるさまざまな福祉課題の解決に取り組む住民主体の福祉活動団体です。第6回は、旭川地区社会福祉協議会です。



2つ目は「小学生と高齢者の餅つきのつどい」です。旭川地域の児童(緑が丘小学校、緑新小学校の児童)と旭川地区内に住む高齢者を対象とし、小学生が日頃ふれたことがない、日本の伝統と文化である「餅つき」を高齢者に教えてもらいながら体験し、一緒にお餅を食べ交流する行事です。どちらの行事についても、少子化や核家族が進み、高齢者と子どもたちとの接点が少なくなっていることから、地域に根づく芸能の発表や鑑賞、餅つきを行い、多世代で交流をすることで、地域のつながりづくりを推進することを目的として開催しています。

※地域支援あいのまちづくり推進事業とは

住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくり(福祉コミュニティの形成)を目的に、隣近所による声かけや訪問などを行う「安心見守り事業」、身近な所で交流する「ふれあいサロン事業」など、全部で5つの事業があります。実施主体が旭川地区社会福祉協議会、全市的な推進役が旭川市社会福祉協議会です。



「共同募金運動」にご協力 ありがとうございました!

「赤い羽根共同募金」にご協力をいただいた町内会・企業・市民の皆様、「歳末たすけあい募金」にご協力をいただいた学校・団体・企業・職場で働く皆様、平成30年度の運動もたくさんの方々からあたたかい「おもしろ」や「やさしさ」をいただき終了いたしました。皆様からの募金は福祉団体等の活動や福祉施設等の機器、車両購入等に助成されます。6年目の寄附金付きコラボバッジはゆっきりんも初登場!あさっぴーと合わせて8千個のご協力をいただきました。たくさんのご協力に感謝申し上げます。

今後ともこの運動に深いご理解とご協力をよろしくお願い致します。



平成30年度
「あさっぴー・ゆっきりん」共同募金
寄附金付きコラボバッジ
©ナカジマヨシカ

共同募金+歳末たすけあい募金

26,521,599円

種別	平成30年度実績額
戸別募金	10,929,856
大口募金	7,488,676
街頭募金	794,453
その他の募金	4,612,450
共同募金合計	23,825,435
歳末たすけあい募金	2,696,164
合計	26,521,599

*歳末は繰越金6,436円含む

コラボグッズを活用したイベント募金

「初音ミク」「バンドリ!ガールズバンドパーティ!」とのコラボにより、イオンモール旭川西で募金PR活動を行いました。募金額に応じて各種グッズをプレゼント!「日本ハムファイターズ公式戦」「北の恵み食べマルシェ」会場、各地域で行われた夏祭りやイベント会場でも、たくさんの方々にご協力をいただきました。来年度もまた、コラボグッズのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

コラボグッズを活用した
イベント募金実績額

786,800円



旭川市共同募金委員会 TEL23-0742 / FAX23-0746

家出人・人探し・ストーカー対策・
盗聴・盗撮・電磁波調査などのご相談は
創業30年の北海道総合調査センターへ!

北海道総合調査センター
北海道警察OBの探偵事務所・興信所
北海道総合調査センター
北海道旭川方面公安委員会 探偵業届出 第12170006号
旭川市永山4条24丁目3番12号
☎0120-479-980 ✉towa-r@with.memail.jp



代表 石川 正貴
(旭川出身の探偵です)

北彩湯処 御料の湯
旭川市西御料5条1丁目
☎0166-65-2683
営業 10:00~23:00(受付22:00終了)
年中無休(但しメンテナンス日有り) クーポン 100満
★御料の湯 ボトル
↑ツインハーブ橋
●しまむら ●富良野線 ●美瑛
〒074-0001 旭川市西御料5条1丁目
http://goryounoyu.com



おがれ

地域の宝もの

旭川大学柔道部は平成15年に創部され、これまで輝かしい成績を多く挙げてきましたが、日頃から講義や部活動などの空き時間を活用し、地域の子どもを見守る活動を行っています。今回は柔道部「子供見守り隊」のみなさんと岩崎満監督からお話をお聞きしました。

「おがる」とは?
方言で「成長する」、「大きくなる」という意味。このページでは、地域活動で活躍するみなさんを紹介します。



通学路で下校中の子どもを見守る「子供見守り隊」

旭川大学の柔道部員は、毎週金曜日午後2時30分から1時間半程度、永山小学校周辺の通学路で、下校中の子どもを見守る「見守り活動」をしています。この活動を始めるきっかけとなったのは、永山地区で不審者や変質者の情報が多かったことに加え、全国的に子どもが犠牲になる事件・事故が増えていたこともあり、平成18年に「子供見守り隊」を結成・開始し、これまで約12年間活動を継続しています。活動をしている部員からは、「私たちが行う活動を通して、不審者や変質者が少しでも減ってほしい」という想いで活動をし

地域に安心を届ける
「子供見守り隊」

部員の主体性と継続が地域との信頼関係へ
旭川大学柔道部の岩崎監督からは、「ボランティア活動は、一時的な活動ではなく、継続して行うことが大切だと思います。『子供見守り隊』は、部員が主体的に行っている活動であります。継続的に活動し続けることで顔馴染みのお兄さん、お姉さんとして親しまれ、お互い挨拶を交わすことのできる関係づくりは、とてもやりがいを感じると共に、諸先輩方から継続的に活動を行ってきた成果であると実感しています。また、柔道がしたいという想いで入部しました。また、部活動を通して「子供見守り隊」を知り、活動をさせていただいたことをきっかけに、さまざまなボランティア活動にも興味を持つようになり、今後は、現在行っている活動に留まらず、さまざまな活動にチャレンジしていきたいと思っています」と活動に対する想いや今後の目標などを語ってくれました。



「子供見守り隊」活動の様子

り、自分たちで考え判断し、活動を継続しています。その結果として、部員たちの頑張りによって、地域に安心を与え、地域の子どもや住民の信頼を得ることができていると感じています。スポーツは勝ち負けの世界であり、勝つことも大切ですが、それ以上に人のためになることをすることが、自分自身を大きく成長させることとなります。講義や部活動がある中で大変だと思いますが、活動をするに決めた以上は、今後とも責任感を持って地域に根差した活動を展開してもらいたい」と監督としての想いを話していただきました。



あなたも「できること」、「できるところ」からはじめてみよう!
みなさんの取組・活動を紹介させてください! 幅広く情報を募集しています!!
【お問合せ先】旭川市社会福祉協議会 地域福祉課 ☎23-0742